

表6. 回答者の属性 (自己負担割合:1割)

回答数		839	
性別	全体	816	(100.0%)
	男	513	(62.9%)
	女	303	(37.1%)
年齢 (歳)	全体	75.5 ± 4.7	(n= 827)
	男	75.6 ± 4.4	(n= 510)
	女	75.2 ± 5.0	(n= 303)
初回診断時期 (ヶ月前)		33.9 ± 36.6 (n= 694)	

図56. がんに関する困りごと (経済的面) (自己負担割合:1割)

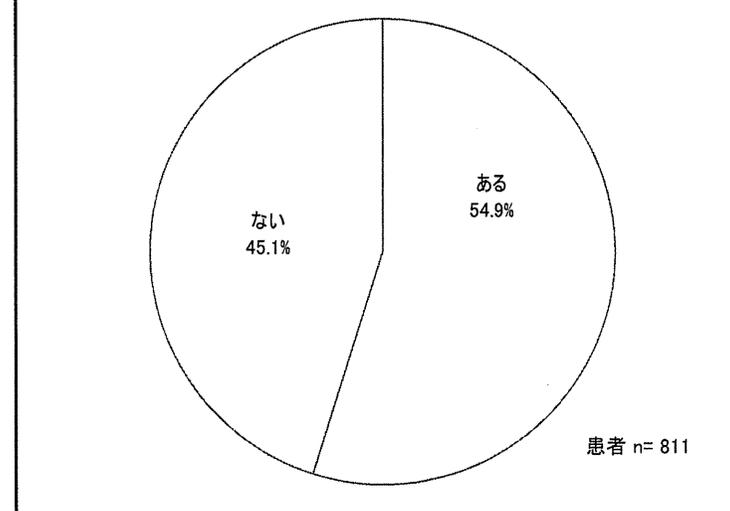


図57. がんに関する困りごと (経済的面) (自己負担割合:1割)

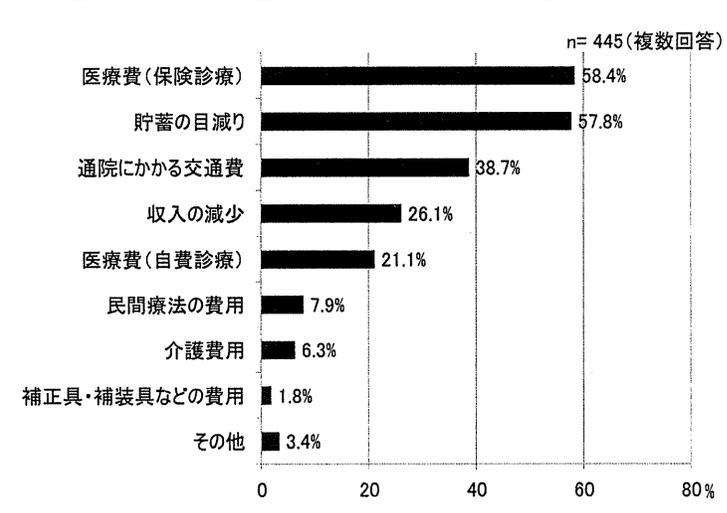


図58. 経済的理由による治療への影響 (自己負担割合:1割)

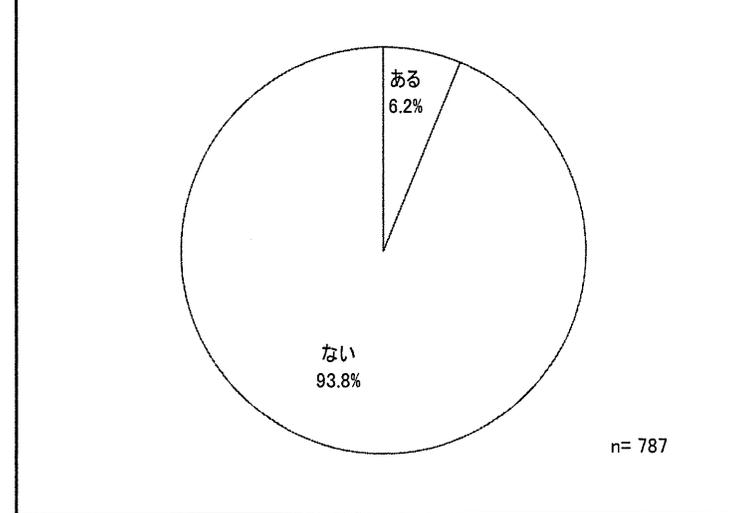


図59. 過去一年間の世帯の収入(税込み) (自己負担割合:1割)

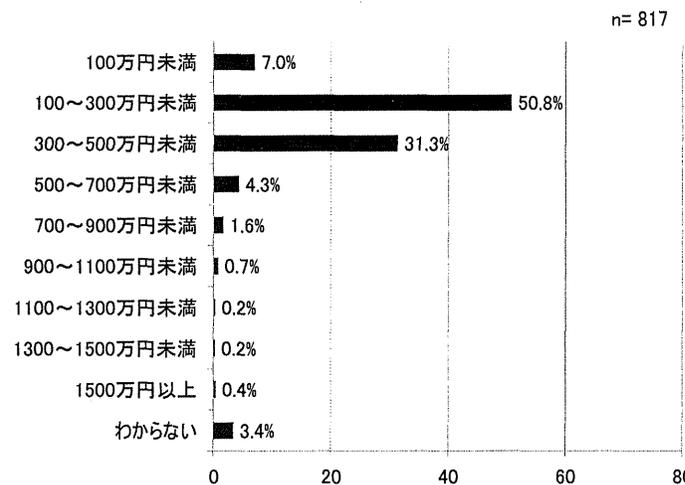


図60. この病気による収入の変化 (自己負担割合:1割)

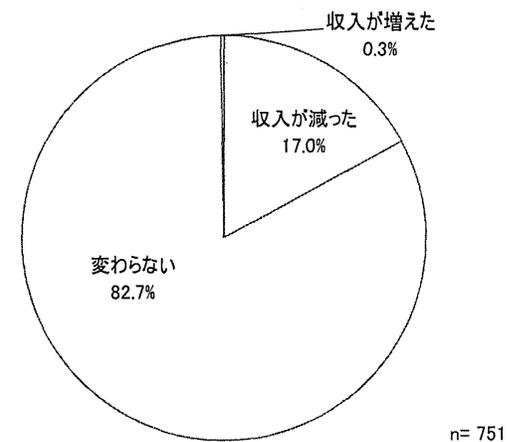


図61. この病気による収入減少の割合 (自己負担割合:1割)

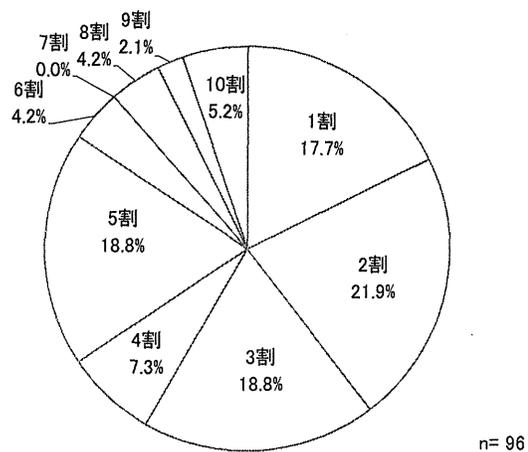


図62. 自己負担額と償還額(年間) (自己負担割合:1割)

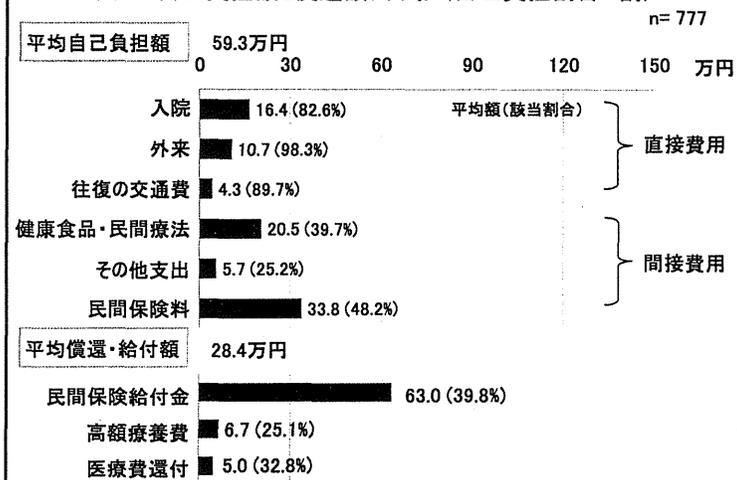
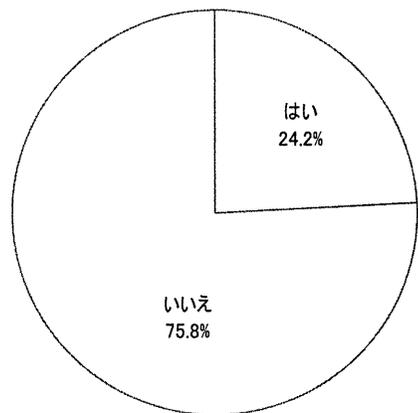
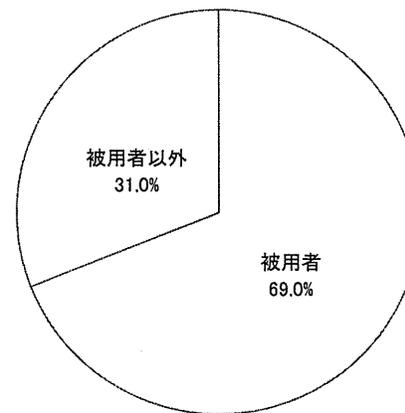


図63. がんと診断された時期の就労（自己負担割合:1割）



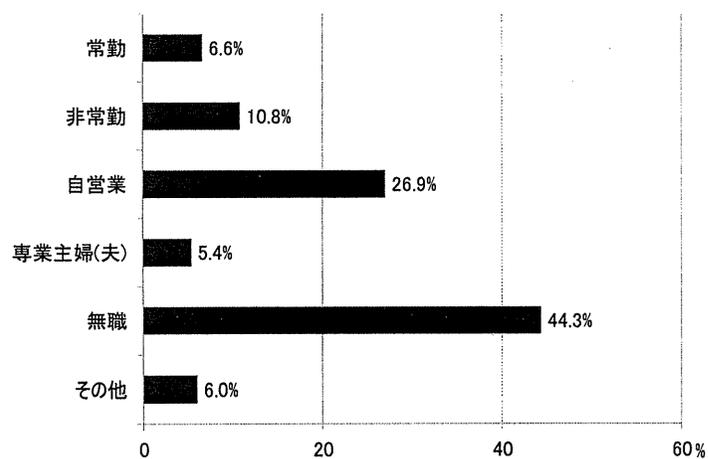
n= 782

図64. 就労の状況（自己負担割合:1割）



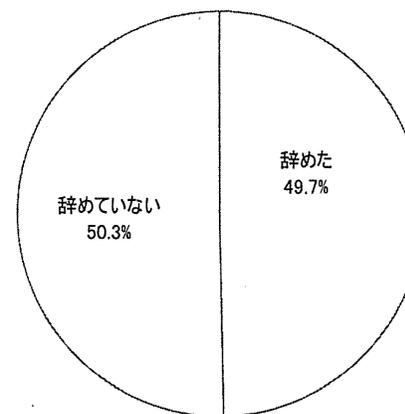
n= 155

図65. 仕事の状況（自己負担割合:1割）



n= 167

図66. がんて仕事を辞めたと思われる者の割合（自己負担割合:1割）



n= 167

がんて仕事を辞めたと思われる者の割合:がん診断時に仕事をしてきた人 / 現在専業主婦または無職の人* 100 [%]

表7. 回答者の属性

回答数		1,933
性別	全体	1,901 (100.0%)
	男	816 (42.9%)
	女	1,085 (57.1%)
年齢 (歳)	全体	63.8 ± 11.8 (n= 1,916)
	男	68.3 ± 10.0 (n= 814)
	女	60.2 ± 11.8 (n= 1,083)
初回診断時期 (ヶ月前)		30.7 ± 32.1 (n= 1,693)

図67. 部位

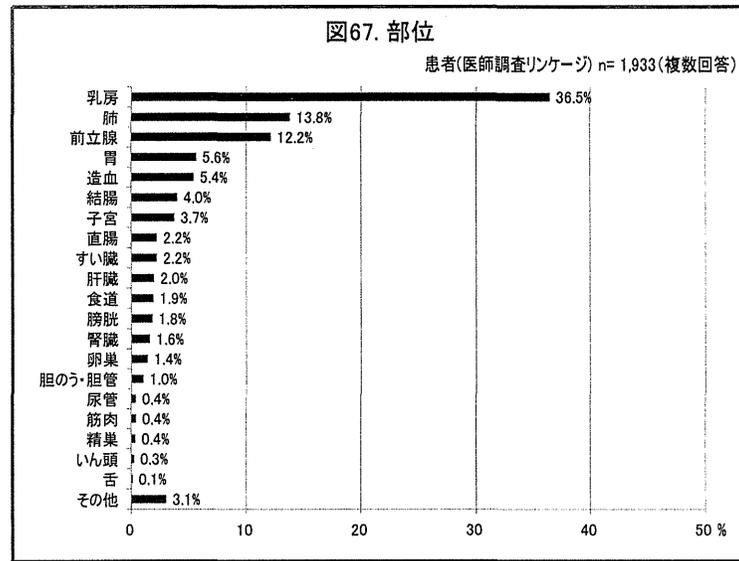


図68. Clinical Stage

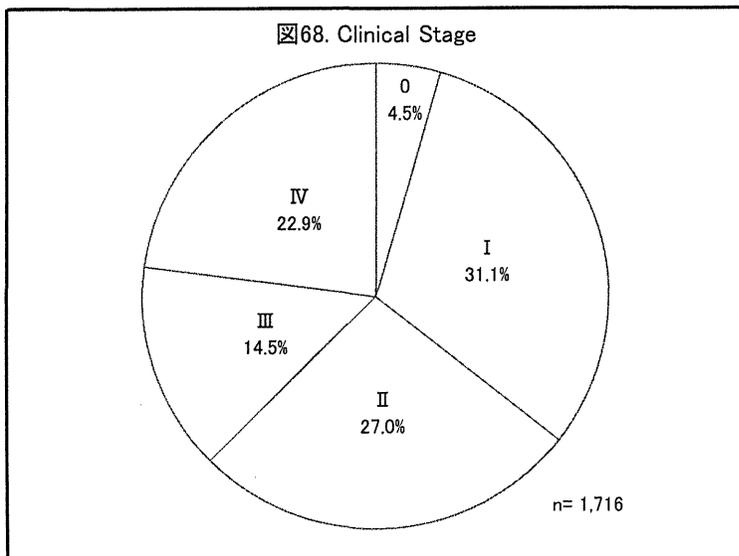


図69. がんに関する困りごと(経済的)

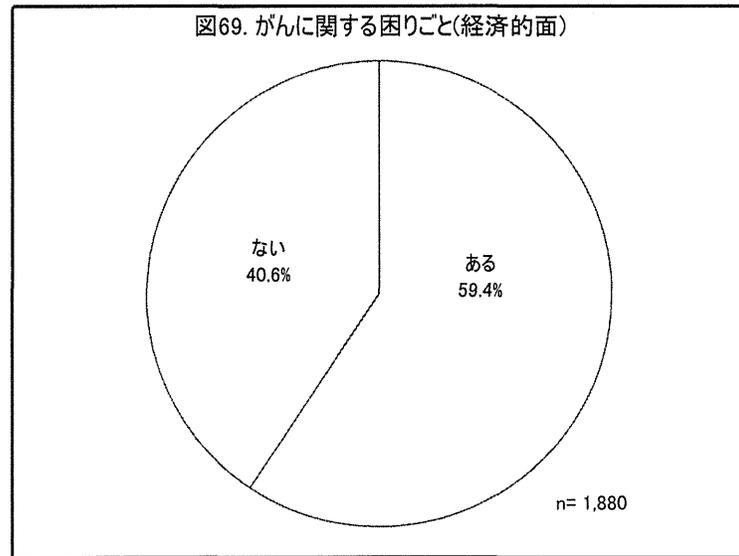
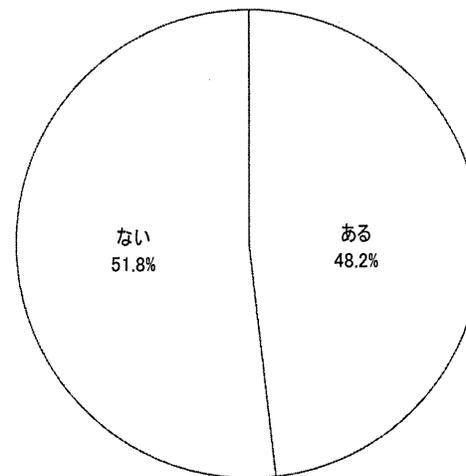


表8. 回答者の属性 (Stage I)

回答数		534	
性別	全体	528	(100.0%)
	男	177	(33.5%)
	女	351	(66.5%)
年齢 (歳)	全体	62.7 ± 11.7	(n= 529)
	男	68.6 ± 9.8	(n= 177)
	女	59.7 ± 11.4	(n= 349)
初回診断時期 (ヶ月前)		29.0 ± 27.3 (n= 475)	

図70. がんに関する困りごと(経済的側面) (Stage I)



患者(医師調査リネージ) n= 515

図71. がんに関する困りごと(経済的側面) (Stage I)

n= 248 (複数回答)

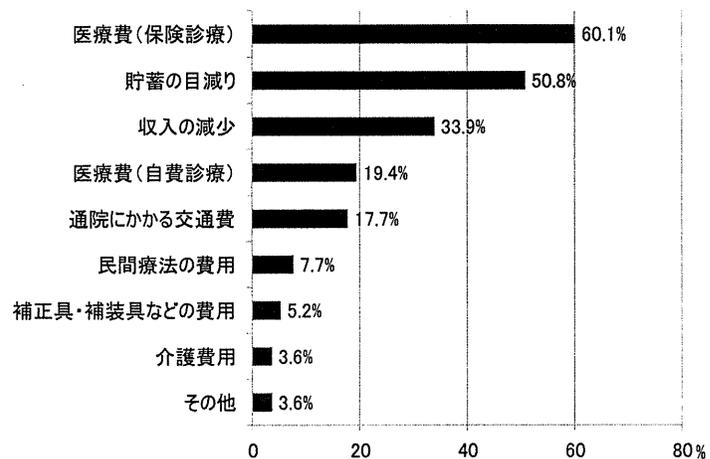
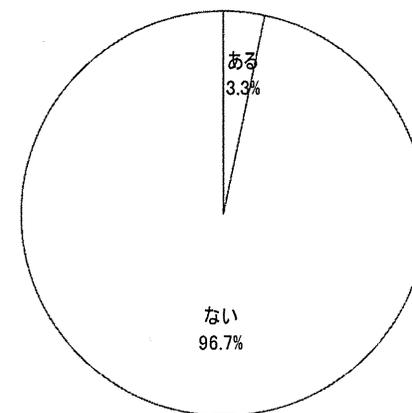


図72. 経済的理由による治療への影響 (Stage I)



n= 515

図73. この病気による収入の変化 (Stage I)

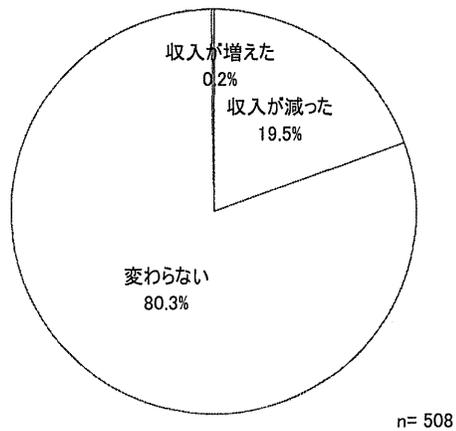


図74. 自己負担額と償還額(年間) (Stage I)

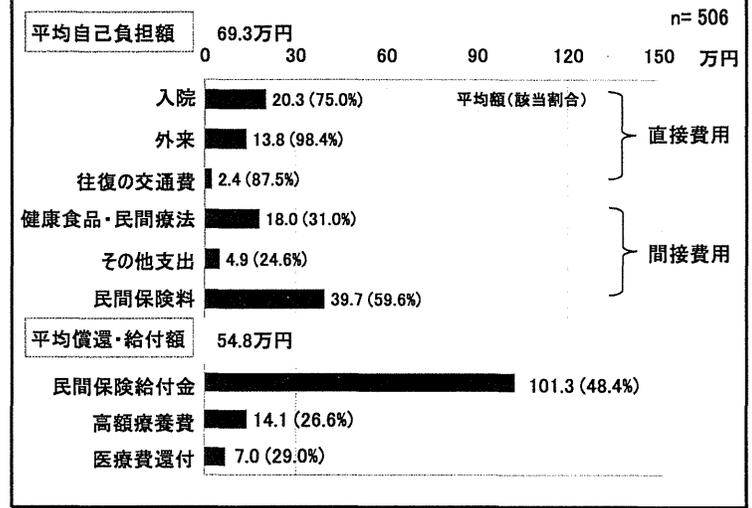


図75. がんと診断された時期の就労 (Stage I)

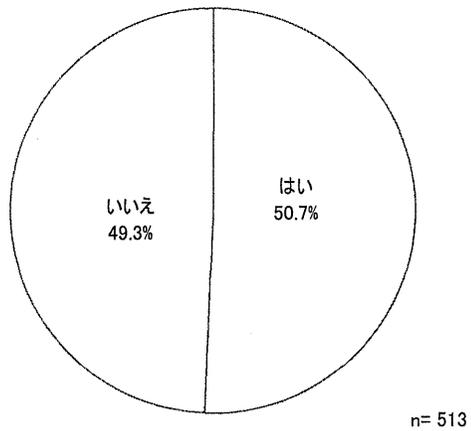
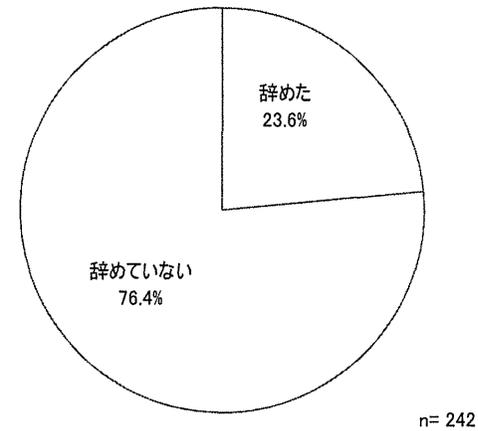


図76. がんて仕事を辞めたとと思われる者の割合 (Stage I)

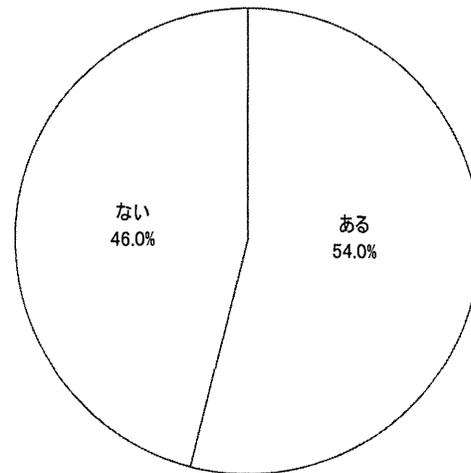


がんて仕事を辞めたとと思われる者の割合:がん診断時に仕事をしていた人 / 現在専業主婦または無職の人* 100 [%]

表9. 回答者の属性 (Stage II)

回答数		463	
性別	全体	459	(100.0%)
	男	161	(35.1%)
	女	298	(64.9%)
年齢 (歳)	全体	62.8 ± 12.0	(n= 462)
	男	70.5 ± 8.1	(n= 161)
	女	58.6 ± 11.7	(n= 298)
初回診断時期 (ヶ月前)		30.6 ± 30.3 (n= 417)	

図77. がんに関する困りごと (経済的面) (Stage II)



患者(医師調査リンケージ) n= 452

図78. がんに関する困りごと (経済的面) (Stage II)

n= 244 (複数回答)

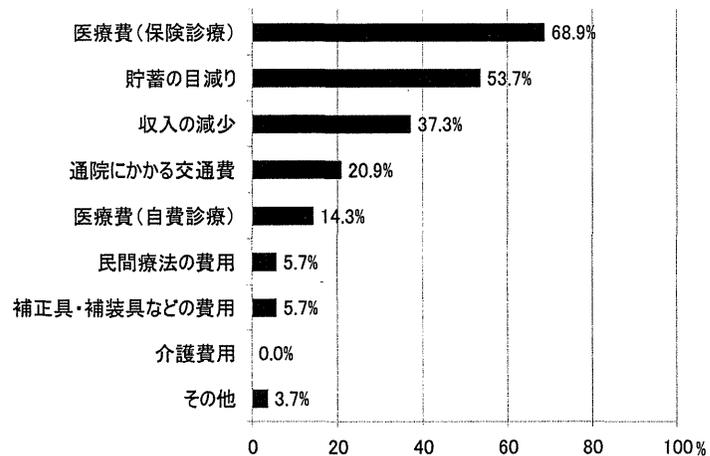
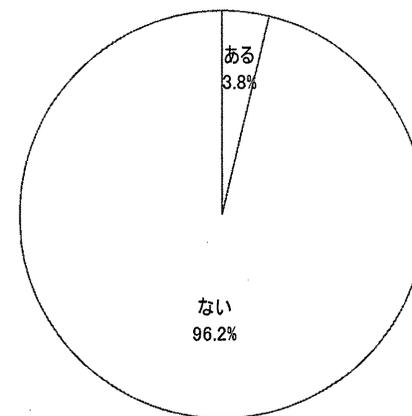


図79. 経済的理由による治療への影響 (Stage II)



n= 450

図80. この病気による収入の変化 (Stage II)

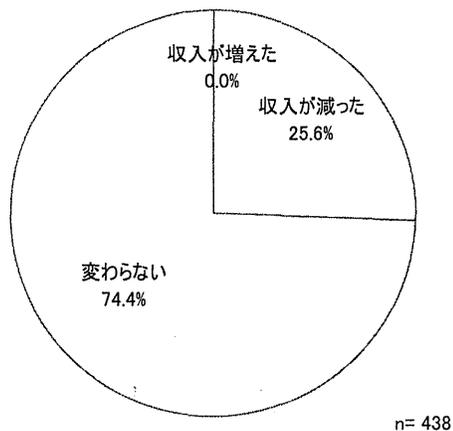


図81. 自己負担額と償還額(年間) (Stage II)

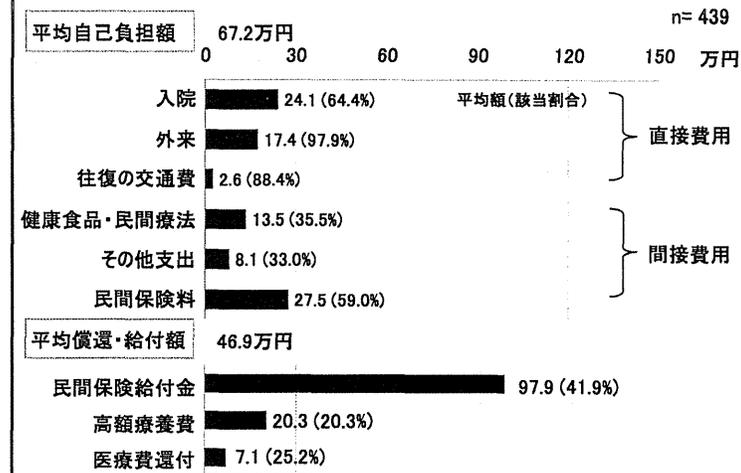


図82. がんと診断された時期の就労 (Stage II)

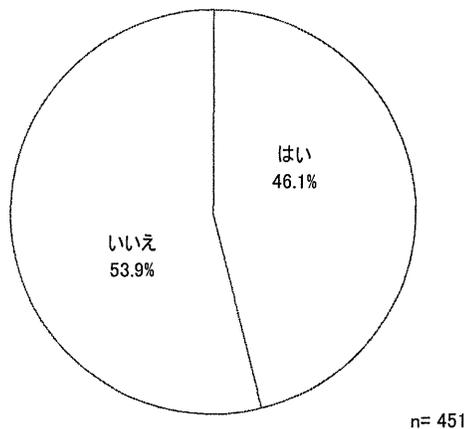
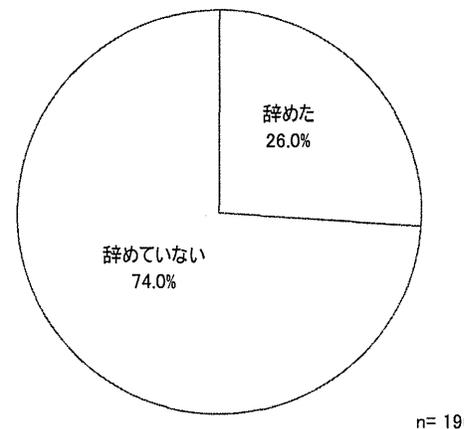


図83. がんで仕事を辞めたと思われる者の割合 (Stage II)



がんで仕事を辞めたと思われる者の割合:がん診断時に仕事をしていない人 / 現在専業主婦または無職の人* 100 [%]

表10. 回答者の属性 (Stage III)

回答数		249	
性別	全体	246	(100.0%)
	男	128	(52.0%)
	女	118	(48.0%)
年齢 (歳)	全体	66.2 ± 11.5	(n= 247)
	男	69.6 ± 10.4	(n= 127)
	女	62.2 ± 11.5	(n= 118)
初回診断時期 (ヶ月前)		24.4 ± 30.1	(n= 218)

図84. がんに関する困りごと (経済的側面) (Stage III)

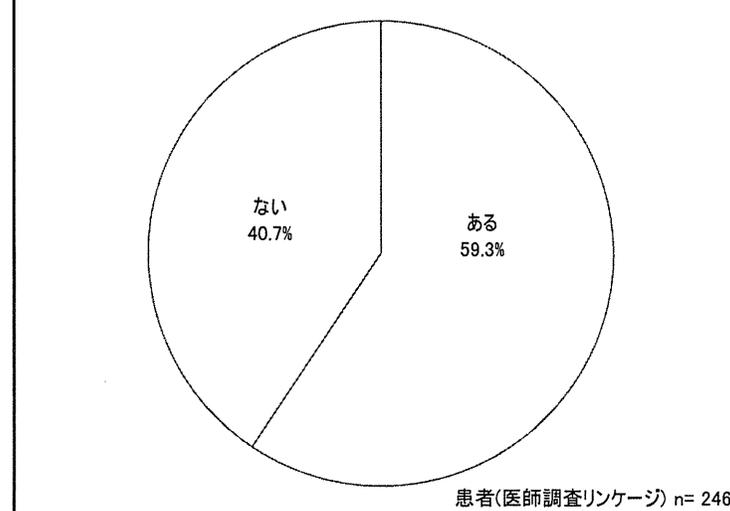


図85. がんに関する困りごと (経済的側面) (Stage III)

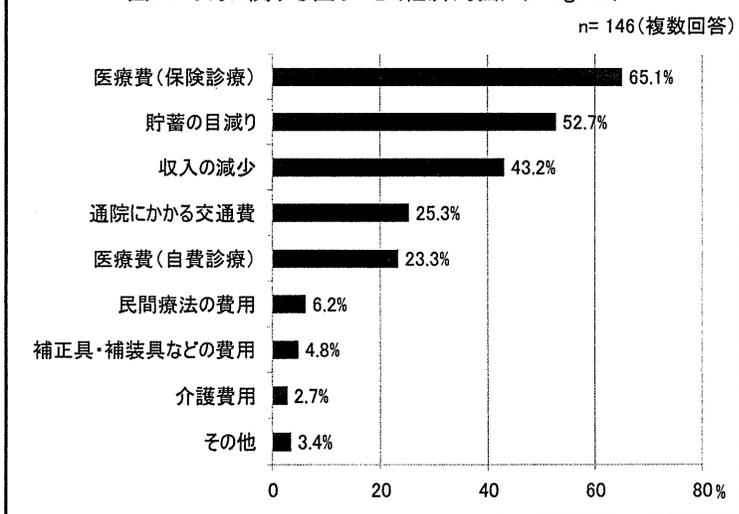


図86. 経済的理由による治療への影響 (Stage III)

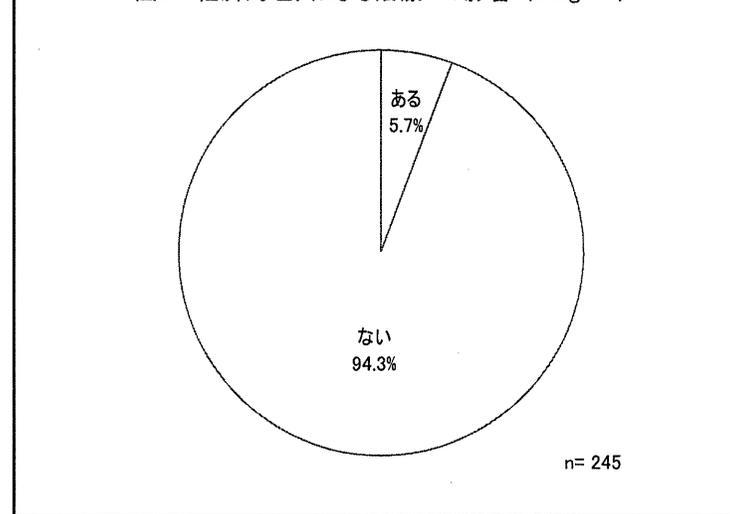
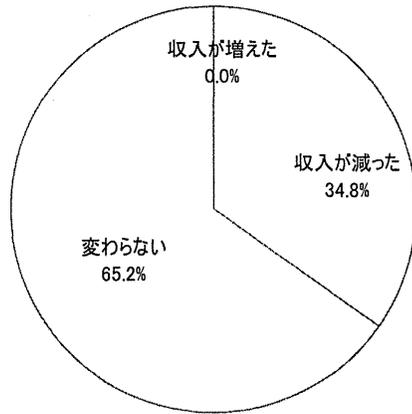


図87. この病気による収入の変化 (Stage III)



n= 233

図88. 自己負担額と償還額(年間) (Stage III)

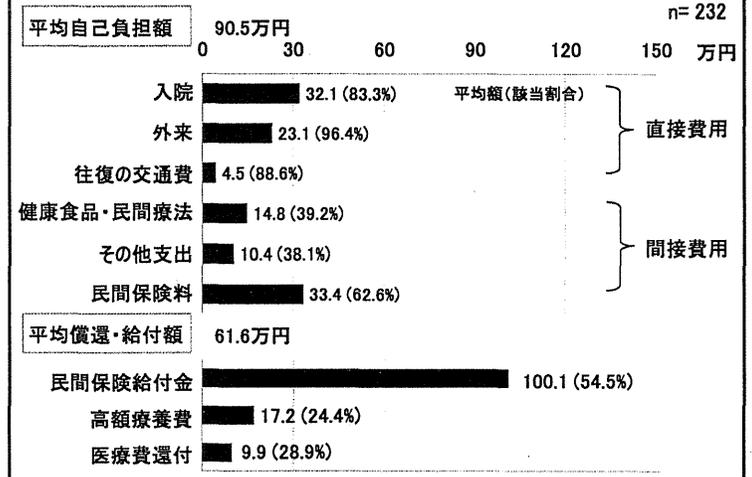
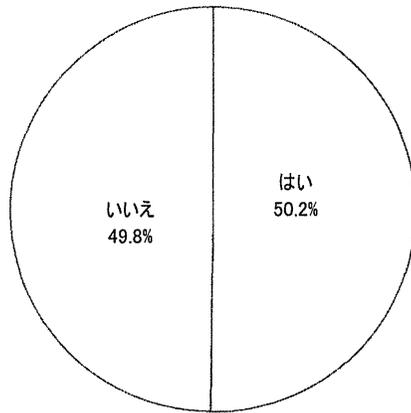
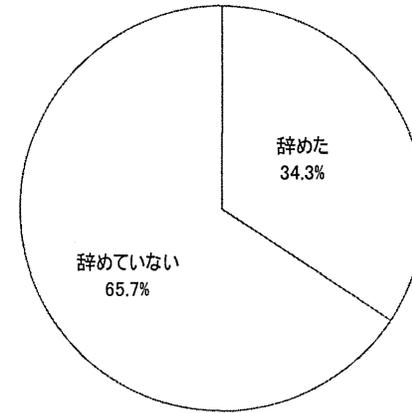


図89. がんと診断された時期の就労 (Stage III)



n= 239

図90. がんで仕事を辞めたと思われる者の割合 (Stage III)



n= 108

がんで仕事を辞めたと思われる者の割合: がん診断時に仕事をしていない人 / 現在専業主婦または無職の人 * 100 [%]

表11. 回答者の属性 (StageIV)

回答数		393	
性別	全体	381	(100.0%)
	男	232	(60.9%)
	女	149	(39.1%)
年齢 (歳)	全体	66.3 ± 10.7	(n= 386)
	男	67.8 ± 9.6	(n= 231)
	女	63.7 ± 11.9	(n= 149)
初回診断時期 (ヶ月前)		35.4 ± 39.1	(n= 328)

図91. がんに関する困りごと (経済的側面) (StageIV)

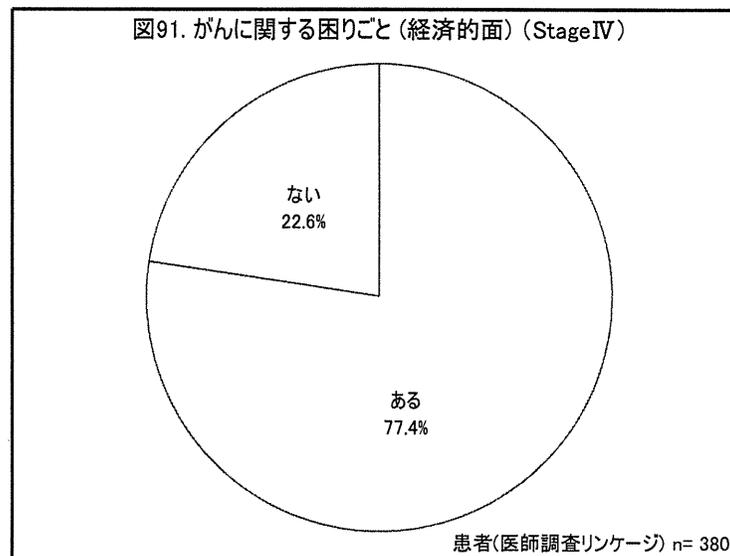


図92. がんに関する困りごと (経済的側面) (StageIV)

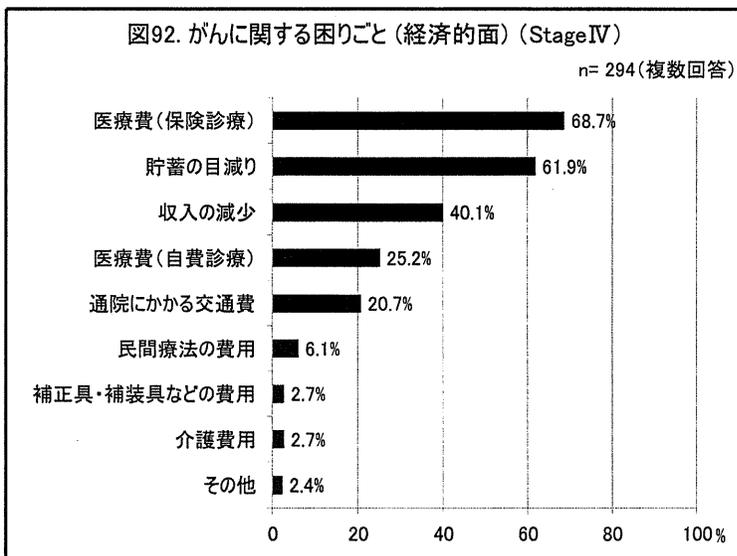


図93. 経済的理由による治療への影響 (StageIV)

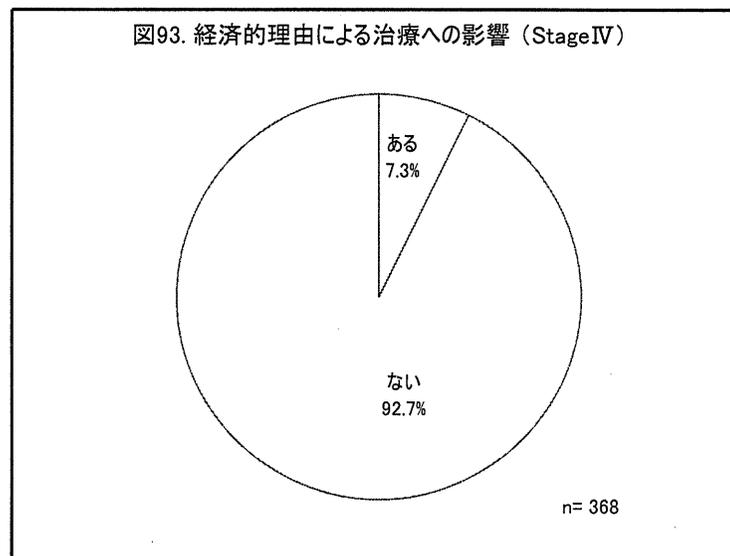


図94. この病気による収入の変化 (StageIV)

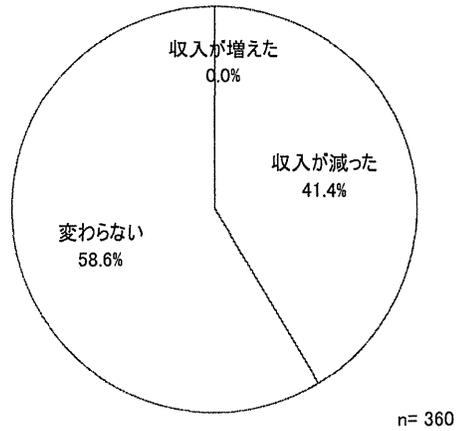


図95. 自己負担額と償還額(年間) (StageIV)

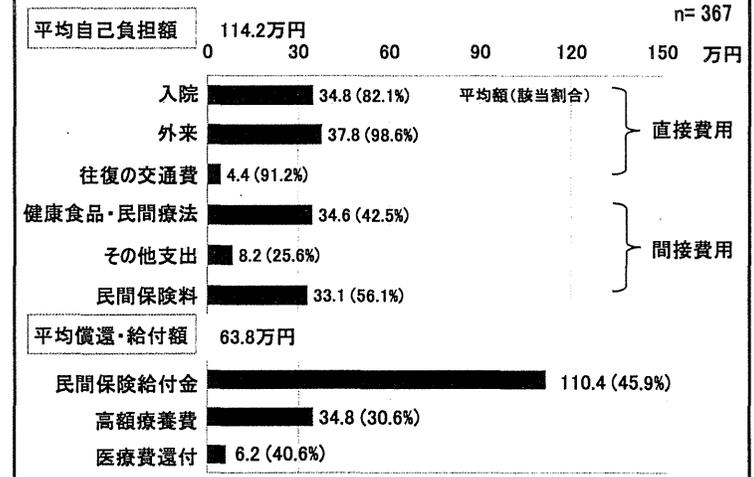


図96. がんと診断された時期の就労 (StageIV)

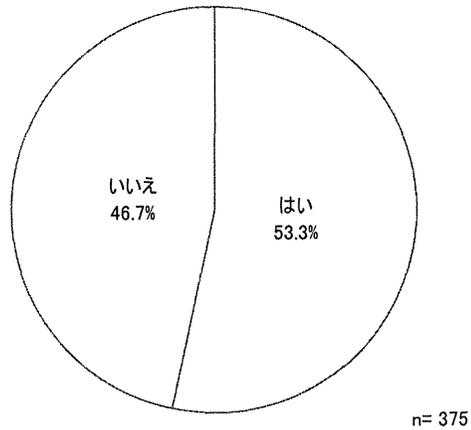
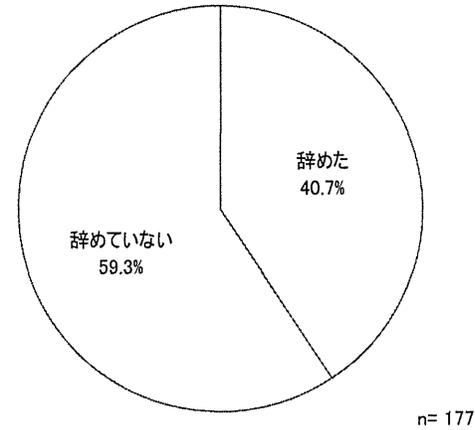


図97. がんで仕事を辞めたと思われる者の割合 (StageIV)



がんで仕事を辞めたと思われる者の割合:がん診断時に仕事をしていた人 / 現在専業主婦または無職の人* 100 [%]

自由記載（抜粋）

1	ストレスと感じるようなことは避けています。脂肪分の多い食事は少なくしています。精神面は強いようなので、今後の生活はいろいろな事を楽しみながら、普通に過ごしてゆけたらと考えています。仕事は続けてゆきたいです。
2	髪もなく爪もなく、スポーツが出来ない。職も失い、以前、健康な時とまったく違う生活をしています。現実として受け入れざるを得ない（温泉やプールは、利用しにくい）。
3	あまり病気だと考えこまず前向きに頑張っていています。収入の面で不安はあります。
4	先生をはじめ、多くの人々に助けていただいた命なので、生まれ変わったつもりで、前向きに生活していきたいと思っています（アドバイスを受けながら検診を受ける。がん友と励まし合う。毎年人間ドックでは発見されなかったので、自己検診の大切さも伝えたい）。
5	出来なくなったことや、ないものに目を向けず、出来る事、ある物に目を向けるようになった。趣味等、ほとんど出来なくなり、歌等、出来る事を始めた。先生にお願いして、抗がん剤治療を先にしてもらって良かった。乳房を取る前に、いろいろ情報を集める事ができて、大好きな温泉に入れる人工乳房がある事も知り、手術への不安がやわらいだ。
6	早期発見で初期がんだったので、現在は、再発予防のための治療に通院しています。抗がん剤の影響で脱毛してしまい、ショックな事もありますが、家族のためにも完治する様、治療を続けながら毎日、仕事にも勤務しています。
7	パートで就業時間が短いですが、規則正しく健康の為と思い、まだ仕事を続けて行きたいと思っています。身体が自由に動けるうちに友達と出来るだけいっぱい出掛けて、楽しみたいと思っています。仕事をしていると気がまぎれます。
8	再発しないよう、先生から出された薬を、きちんと飲んでる。幸い副作用もなく、普通に過ごしているので感謝している。再建することを支えにして、全摘手術を受け、今、その再建もようやく終わりがみえてきて、ほっとしている。主人の理解があったからだ感謝している。医療費が高額にならないよう、インプラントにも保険がきいてほしい。
9	健診の大切さを知るとともに、健診しても見つからないという話を聞きました。私の場合は近くに良い病院があり、通院も助かりました。専門医（総合病院では、なかなか難しいでしょうが）をそろえた病院がたくさん出来ることを願うとともに、女性でしかわかりえない、心の悩みを受け入れてくれるカウンセラーの数も増やして欲しい。また、治療費も、補助をもっと増やしていただけると助かります。
10	この病気は、亡母と同じで、私の運命です。幸いにも、早期発見と心から信頼申し上げる主治医の先生のご診療のお陰を持ちまして、病への不安、恐怖は殆んどなく、むしろ、日々忘れてしていると申し上げても良いでしょう。自らに限って申せば、高額医療費制度の恩恵を受けさせていただいて、深甚なる感謝の思いであります。
11	仕事や子育てに忙しく、病気について、ゆっくりと考えるという生活ではないので、検査や病院に行く事で病気を思い出す様な日々です。かえって忙しい事で救われているの

	かもと思います。体に良い物を取り入れたいという思いから、医療費と同じ位、健康食品などに支出している状態です。
12	早期発見の大切さを、知人に話すように周囲の人々にといています。何か気がかりなことがあったら、早目に病院にかかることを、私の役目として、これからも継続していきたいと思っています。
13	残された人生を前向きに、楽しく仕事を続けたい。
14	抗がん剤の副作用が辛くて、長年続けてきた仕事を辞めてしまいました。それまで仕事だけで生きて来たので趣味もなく、何をしたら良いのか迷う日々。ホルモン剤の副作用もあり、うつに苦しみました。しかし、忙しくて会えなかった友達の声かけをきっかけに、気持ちを切り替える事が出来ました。今は、非常勤の仕事をしています。自由になる時間でスポーツジムで楽しく過ごしています。友達とおしゃべりしたり旅行に行ったり、元気で仕事をしていたら出来なかった事です。乳がんも、忙し過ぎた私に神様がくれたプレゼントかもしれないと思います。今は、毎日が充実しています。楽しく過ごしていきたいと思っています。
15	思いがけず 60 才を前にして、がんが見つかりました。夫も定年し、人生も終盤に入りました。子供達も独立したので、年金生活ながら命ある限り人の役に立ちたいと、夫婦でボランティアに励んでいます。
16	幸いなことに、私は早期発見でしたので、程度で表わせば軽いがんだったんだと思います。しかし、常に転移や再発のことは頭から完全に無くなることはありません。ただ、私よりももっと辛い思いをされた方や、治療中の方達を思うと、頑張っていらっしゃる方々に申し訳なく思い、前を向いて行かねばと思っています。治療だけでなく、心のケアも周囲の方々により助けられています。
17	半年ごとに検査があり、そのたびに必要以上に再発が心配でたまりません。ただそれ以外では家族、友達、職場では理解があるので、今までと変わらずに過ごせています。
18	全快不可能な病との挑戦は精神的にも疲れる。それに伴う経済的負担は大きい。医療福祉に期待するのみ。
19	毎日が不安で、一日元気で過ごす事が何よりの幸せと思い、病院の先生方に身体をまかせ、信頼し回りの人々の手助けに感謝し生きています。金銭的不安もありますが、命が長く伸びるにはやむを得ないと思案しています。生活が金銭的に軽減され、余裕が出ればもっと生き生き、長く生きられそうです。
20	精神的に不安定になる（体調がすぐ変わるため）と悪い方向にばかり考えてしまい、気持ちが落ち込みやすくなり、よけい体調不良となってしまう。楽しみも限りがあり、スポーツ等も体がついて行かなくなり、悪循環の繰り返しとなっている。 医師の方々の診断と生命保険会社の判断内容が違う（これは保険契約内容によっても違って来るとは思いますが）。医師は手術後の経過リハビリも、治療の一環として診断書を書いてくれましたが、保険会社はリハビリはリハビリで治療ではないということで保険対象にならなかった。しかし、現在は手術からリハビリまでが認められつつあるみたいで

	す。手術、入院は高額限度額が使いやすいのですが、検査等、外来での医療費は月の合計になり、高額限度額に少し足りなくても使えず、支払負担が大きくなり、生活が検査等がある月は大変になる。
21	高額医療費制度の認定基準に付いて、医療費合計の中に交通費用をも含めたものに改定して頂きたいと思う（医療行為を受ける為には必要不可欠と思うが）。
22	H23. 3. 11の震災により自宅が半壊したことから、国保の自己負担分が免除扱いとなり、入院、治療の面で大いに助かりました。癌は長期に、しかも高額の治療費がかかり、私共、年金生活の身では、治療費に絶えず不安を感じつつ受診しています。幸い治療効果が出て出現した癌が縮小しており、ホッとしています。
23	現状維持病状が悪化、又は転移しない様、治療を続けたい。全身のPET等、年1度受けて他への転移発見（早期）を希望します。心身面のケア、又、気軽に相談出来る場所を増やしてほしい。
24	日本では、保険がきく抗がん剤の種類が少ない。もっとたくさんあれば、自分に合った物を試して行けると思う。あと、ジェネリックもどんどん利用して行ってほしい。
25	ひとたび病気と診断されたなら、前向きに治療を受け、自分自身で最大の効果を期待出来ることを考える。医者への消極的反対を振り切って、自ら先進医療（重粒子治療）を受けた。心境的には自然体。
26	医師の指示に従って、抗癌剤服用とあいまって極力以前と変わりなく仕事を行っています。仕事量を調節して、無理な負担を減らす様にしています。
27	まさかの告知に最初はショックを受けたが、今の科学と医学を信じて、先生におまかせする事に決めて、今は何とか心が落付いていますが、わずかな年金（個人的には）、若い人（子供達）に負担をかけているのが、辛いです。
28	がんに対して不安が継続している。検査や健康食品等で心のバランスを取っている。
29	私の場合、幸いに早期に発見でき、全て手術で切除していただきました。がんになってしまった時はショックで落ちこみましたが、これからは、体調にも十分気をつけて、前向きに生きていきたいと思えます。治療のため病院に通院するうちに、同じ病気の方から「皆同じだから、頑張って」と声をかけてもらうことがあり、1人じゃないんだと思い、頑張っていこうという気持ちになれました。
30	国保高額療養費等に助けられて、今日生きて在ることを感謝しつつ、シングルマザーの方達が、自身の医療費、子供の養育費等で大変な思いをしている様子をテレビなどで知ると、申訳ない気がする。子育て中の家庭には手厚く、私自身はこれ以上医療費を使わぬよう健康に留意し、親の介護が終わったなら、気楽に死と向き合いたいと思っている。
31	日々の健康、特に食事には気をつけています。時々再発の心配があり、今までの病院への支出が多いのが、これからも続くのかと思ひ不安です。主人があと1年で仕事を退職します。生活費が半分以下になるだろうと思ひ、不安です。
32	この病気と、ずっとつき合っていく為にも治療費を下げてもらいたいです。今は在職中ですが、今後の事を考えると不安になります。毎回の診察費、薬代など、家計にひびき

	ます。よい治療方法の開発と、費用面の軽減を切に望みます！頑張ってください！！
33	現在手術後 3 年半、再発・転移なく、日々、がんと向き合いつつ生活しています。経済的には年金（公的と民間の老令年金）のうけられる年齢で発症したこと、高額医療費の援助がうけられる中、ある程度の蓄えもありました。しかし、何よりも再発・転移のない中で支出で納まっていることが、ありがたいです。しかし、高齢が故に、他の疾患の検査や治療費も、かなり要しているのも事実です。精神的には不安を抱えての日々とはいえ、がんになり、がんサロンの支えは大きく、隣人との交流も持ち、小さなボランティアにも参加させてもらい、自然とのつながりも持て「がんにならなかつたら、どんなつまらない人生を送っていたらうか」とも思います。
34	人生における一つの経験ととらえ、再発・転移につながらないように、生活全般に心を配りたいと思う。また、診断を受けるまで、自分では疑わしき症状に気付かなかったため、もし、同じような人がいれば、検診を受けるよう積極的に勧めたい。
35	家族、親族に経済的に大きな負担（日常生活行動の自由に負担がかかる）にならないよう、考えながら対応出来るよう心がける。
36	まだ3ヶ月なので、どのようになるか、わからない？早く治して、仕事につきたい。
37	ホルモン療法、手術も効果が無くなり、最終療法として、抗がん剤の化学療法で効果が持続している。効果が出ている間はエンドレスで治療するとの事ですが、これで効果が無くなった場合でも、今以上の治療費がかかれば治療を止める事も考えています（現在抗がん剤の効果が2010年7月に開始し、2年強、持続しています）〔タキソテール120mg点滴〕。
38	3月末に初受診。自分でも100%がんとので参りましたので、4月5日、がんとので先生のお言葉もすんなり受け入れられました。2人に1人の国民病ですので、私の周囲の人には、検診を受ける様。もう私独りでたくさんです。誰にもこんな思いはして欲しく有りません。
39	がん治療をしっかり受けていきたい。その為に経済的に負担が少ないがん医療が受けられる様になるとよいと思います。
40	何しろ遺族年金だけの収入では、先行不安ばかり、外出したくても、お金の不安ばかりで、とじこもりが多い。ますます気分が晴れない！
41	現在、分子標的治療と抗がん剤を服用、3週間に1度通院、会計をするたびにドキドキです。高くて、検査が毎回で大変です。元気なのですが、画像で診断され、悪い結果が出てしまいます。高額医療も月が変わると受けられないので、どうにか対策を考えてほしいです。
42	抗がん剤治療を今回初めてやりました。治療が終了したばかりですが、血液のがんというだけで精神的にも辛く、落ち込みました。容姿の変化や薬の副作用で大変でしたが、命にはかえられないので、辛い治療にも耐え、頑張りました。 以前は、がんイコール死と思っていましたが、医学が進んでいるので、お薬さえ効けば、すぐ死には至らないと知りました。6年前に乳がんの部分切除術も行ない、その他にも

	<p>病気があるので、今後のことを思えば不安でいっぱいです。再発の心配、医療費等のこと、主人が定年退職になり、嘱託での生活なので、老後はどうなるのか、心配はつきません。ただ今は1日1日を大切に過ごし、前向きに考えるしかありません。</p>
43	<p>昨年2011年2月より、自分の居住地域にて、がん患者のサロンを立ち上げ、現在メンバー10名程で月1回の定例会、臨時に集まり、旅行やイベントも楽しんでいる。定例会では、保健師さんに来ていただいたり、ときどき食事会に変更したりしています。家族とは、優しい時間を出来るだけ持ちたいと思います。末期の最後は、お気に入りの施設で静かに迎えたいと考えています。自分が病気をしたことで、子供たちが自身の健康を考え、体を大切にしてくれれば悔いはありません。今後、生きている限り、がんサロンを通してフォーラムを開き、次代の若い人へがんのことを伝えていければと思います。</p>
44	<p>幸い、早期に発見・手術ができたので、今までと変わらない生活をしています。5年間のホルモン治療があるので、まだまだ経済的に心配はありますが、前向きに治療を続けていこうと思っています。</p>
45	<p>がんと診断されて、子供がまだ小さいので、生活を改善して少しでも長く生きたいと思っていて、今の生活がいっぱいいっぱいなので、落ち込んだりくよくよしたりは、ありません。子供がどう感じているか、その事ばかり思う日々です。</p>
46	<p>現在は、震災による国保の負担金が免除になっておりますが、今後の医療費の不安があります。身体的に無理の無い様に仕事はしておりますが。</p>
47	<p>最初、2010年4月手術、治療は高額医療費で負担が少なかったのと、地震で2011年3月11日、免除無料（現在も2013年3月末まで）制度はありがたかった。今回、2012年9月前後して免除で助かっている。しかし、制度がなくなり、差額支払いするにしても、年金から支払いはかなり厳しいと思うが、その時に考える。</p>
48	<p>再発転移を防ぐためにも、高額な検査や薬にも支出を惜しまなくしてはと思うが、収入に比べ、医療費の占める割合は多いと思う。</p>
49	<p>娘ががんで入院となりましたが、親の私も仕事が出来なくなり、経済的にかなりのダメージがあります。出来る治療は全てやってあげたい！と思っていますが、保険外の事やら、抗がん剤も高すぎて…。もっと、この病気に対する手厚い補助をしてほしい。</p>
50	<p>手術後の腫瘍の残り、再発の心配。放射線治療するも、根治するのか心配。これから先、再治療が多くなれば治療費も負担がかかるかと思えます</p>
51	<p>昨年2月に、乳がんの手術を行い、1年後のCT・ペット検査で悪性リンパ腫が発見され、只今、治療のため休職しているが、余命をどう生きるかを考えている。夜勤もある仕事なので、体力面で不安もあるので、転職を視野に入れている。規則正しい生活、食生活の見直しをしながら、独居でもあるので、経済面でも収入が得られるよう考えていきたい。</p>
52	<p>病気（白血病）のことも心配ですが、どのようにして薬代を支払っていくか、心配でありませんが、前を向いて生きていくしかない。いくことの出来るところまで、生きていくしかない。心配しても何もよくなることもなく。病気は、病院などの医療関係の方々</p>

	に希望を託し、医療費は国・県・町に、いろいろな改善と取り組みを至急願って。薬代を支払っていくことが、1日でも長く続けることが出来るよう、前だけを向いて頑張っていこう。生きていこうと思っています。
53	現在、分子標的治療をしています。多数骨に転移をしており、セメント治療をする事にしました。病気に対してもインターネットで情報を取っています。早く仕事等が出来る事を願っています。
54	早く先進医療が公費負担になる事を願っている。
55	肺に転移していますが、何とかこれを消したいと思い、食べ物、運動（フィットネス、ハイキング、山登り等々）に力を入れて体力をつけています。このための支出が大きいです。薬が高いのも負担です。
56	早期発見で手術できたため、再発についてはあまり考えないようにしています。放射線治療をしていただけの時間帯に制限があったため、5週間、毎日仕事に遅刻する事になり、迷惑をかけました。幸い、私の職場では温かく、応援して頂きましたが、それが理由で職を失う方なども、いらっしゃるのではないかと思います。もう少し、融通がきいてくれればと思いました。
57	治療に関しては、主治医を信頼し、任せている。自分に出来ることは、一日一日を大切に前向きに生きていくということ。仕事でも趣味でも夢中になっていると、病気の事は忘れず。生かされていることに感謝です。
58	30代半ばでの発症で、最初の手術から2度の転移→手術・放射線、抗がん剤と全て受けました。その他にも、現在保険適用外の最新免疫治療に通い、莫大な費用がかかっています。若くしてのがんなので、親・夫・親族の援助の元で、希望ある医療民間療法、食品など、日常生活の維持が保てる限り続けたいですが、一生、転移・再発と向き合う中、経済的負担だけでも減り、諦めずに治療を受けられる事を願っています。
59	がんの宣告を受けた時、「不治の病」という思いがありました。手術を受け、がんという病気を知るにつれ、ある意味、生活習慣病、自己免疫力低下という考えもある様で、今までの自分を見直し、食事、運動、精神面等、気をつけて行きたいと思っています。又、転移、再発の時は、寿命と考えています。東日本大震災時、全壊となり、医療費を免除して頂き、経済的にも精神的にも大変助かりました。これから死ぬまで、どの位費用がかかるのか、不安があります。
60	ワクチン投与の話もあったが、自己負担額（保険適用外）となるし、交通費等の負担で対応が出来ないので困っている。現在の治療法に頼るしかないが、新薬品の認可、一日でも早く開発されることを望んでいます。
61	病名が分かってからは退職し、手術後は自宅にて療養中。年齢的にも再就職は難しく、わずかな年金生活をしている。
62	仕事と両立させている。副作用と身体とのバランスを取って休息しながら生活をして、病と闘っている感じです。
63	食事面もですが、検査をきちんと受けて早い内に治療する事に、心がけています。仕事

	も辞めたので、歩く事にも、時間をかけて歩く事にしています。
64	がんが見つかった時は、大変なショックでかなり落ち込みましたが、積極的に治療に取り組み、後遺症はありますが、命が助かった事に感謝し、今後も再発防止に向けて前向きに取り組んでいきたいと考えます。又、知り合い等には、積極的に検査を受ける様に勧めています。早期発見で、一人でも多くのがん患者が助かる事を望んでいます。
65	息子達は県外で住んでいる為、賃貸マンションで1人暮らしをしています。パートをしながら生活をしていましたが、後の保障もなく、このまま治療を続けていかれるのが不安でたまりません。長い抗がん剤治療を受けながら、身体=生活。もう少し安い治療で、普通の生活が出来るよう願っています。
66	医師を信頼し、社会復帰出来ることを信じて、前向きに日々を送っている。復帰出来る職場と、民間のがん保険に加入していたことから、安心して入院生活を続けているが、どちらか一方でも欠けていたら、この病気は精神的にかなり厳しいものだ。
67	副作用（抗がん剤）により生活の質を落としてしまうより、余命を精いっぱい充実した生活をして送りたいと思っている。治療費が高額であるため、自分だけでなく家族にも負担がかかってしまうため、今後、もっと助成金制度等ができればと考えます。
68	家族や職場の方、そして周りの方の支えがあり、辛い治療も頑張っています。先生や看護師さんの笑顔にも、大変救われています。落ち込む事がありますが、笑ったり、好きな歌手の歌を歌って乗りこえていきます。
69	がんについて、関心を持つようになりました。がんで苦しんでいる人の気持ち少しは、わかるようになったと思います。PSA 検査がいかに重要か、身をもって知りました。友人にも勧めています。がんと共に生きていることを知り、健康維持に努めていきたいと思えます。
70	残りの人生を、どう生きるかを再認識することになった。残された時間は余り無いと考えている。手術のための入院期間がゆっくりと考える時間となった。停年退職後、今までの技術を使って新しい人生を始める予定にしていたが、ゆっくりしている時間は無いと認識し、今年35年間勤めた会社を退職し、新しい人生にかけてみることにした。今は猛烈に忙しい時を過ごしている。
71	とにかく病気に負けないという気持ちを、常に持ち続ける事。これから年金生活になり、経済的負担が大きく心配です。
72	現在のところ分子標的治療がきいている様で、精神的には落ち着いていますが、今後長くなれば経済的な面に不安があり、心配しています。
73	2-7について（治験に賛同していますが）毎回の来院時の支払い、どうにか負担にならない様に考えていますが、今までの総支出に驚きました。がん予防がいかに大切か、考えさせられました。
74	家族と姉のみ知っている。仕事中心。夜勤をやりながら勤務。気をはりつめての仕事なので疲れた時には（休みの日）休息をとったり、ぬるめのお風呂にゆっくり入ることをしている。手術は今のところ考えていない。飲み薬で8mm→3mm程度に小さくなっている。

75	ホルモン治療の注射薬や検査にかかる医療費の負担が大きいですが、再発の不安から、やめることは出来ない。長い期間続く治療なので、もっと負担を軽くしてほしい。
76	先生の最初の一言「まだ、全然死にません」が、私の精神面を支えています。今、19才の息子があと10年後には家族を作っているはずと思い、10年間は普通の生活をして頑張りたいです。会社に勤め、お酒も飲み、たまには旅行をするという生活を継続して行っています。ただし、貯蓄は確実に減っています。
77	生涯転移等をおそれていくと思う。その程度は痛みが出たり、検査結果を聞く時に増大し、普段は小さくて忘れる事もあるけど。ただ、転移した時に、身体的・精神的な苦痛や、経済面が心配。将来の生活設計をたてるのも難しい。子供や家族に対して負担をかけて、親として協力が出来なくなる事に、申し訳ない気持ちになるだろうなあ。この病気をしたことで、価値観が崩れました。今迄の、自分の物差しがなくなりました。生命は薄い氷の上を歩くようなものだ。ひとまず、自分で選択出来る事については決めていきたい。年を重ねることは、幸せなことだと思いました。癌研究をはじめとして、新しい薬や治療法、その他、研究を下さる方々に、心から感謝しています。ありがとうございます。転移したら治療をとるか、どこまでやるか、選択をせまられるのが、しんどいですね。耐えられるかな？考えはじめると限界がない。だから、その時まで考えないとします。
78	私自身は、乳がんだけですと、あまり心配はしていません。他に、2009年にパーキンソン病が判かりました。主人が脳梗塞、前立腺がんのため、2人の治療費が年間60万円位かかり、貯金も少なくなって心細くなっています。そのために、通院以外の治療は受けていません。今回、手術の予定でしたが、胃に潰瘍が見つかり、今、治療中です。
79	乳がん治療は長期に亘り、かなりの医療費がかかります。私の場合、転移している為、いつまで治療が続くかわかりません。安心して治療が続けられるよう、もっと医療費の軽減を希望します。
80	現在、乳がんのホルモン治療中です。ホルモン剤と副作用を軽減するための漢方薬のみ、服用する治療なので、経済的にやりくり出来ていますが、もし、再発、転移したら、体の面はもちろん、経済的な不安でいっぱいです。約1年（抗がん剤、手術、放射線、ホルモン治療）で、約100万円程の出費がありました。がん保険の診断給付金（100万円）でまかなうことができましたが、次からは入院しないと保険金は出ません。もうしばらくして、体調が落ちついたら仕事に行き、もしもの為に貯金したいと考えています。
81	常勤で働いていたので、手当てがあり、心強かった。同じ病室の人は、パートだったので、思う様な治療が出来ない状態だった。抗癌薬投与の時は、脱毛や倦怠感があり、又、精神的にも落ち込みがひどく、退職せざるを得ませんでした。がんかもしれないと言われた時から、眠れない日が多く、がんセンターの看護師に「勝手に近所の精神科とか行って下さい」と言われたので、メンタルクリニックに通院しています。
82	今、放射線の治療中です。今後の再発を少なくするために、治療、薬（ホルモン剤）していますが、常にかん再発を気にしています。今は、今までは、痛みもほとんどなく、来ていますが…。薬等の副作用も気になるところです。今後は費用のことも…。